

## 【参考2】中小企業の“ニューノーマル”を阻む紙保存の実態

今年4月以降、在宅勤務をしている中小企業において、請求書や領収書の処理のためにオフィスに出勤した人の割合は5割に達する。

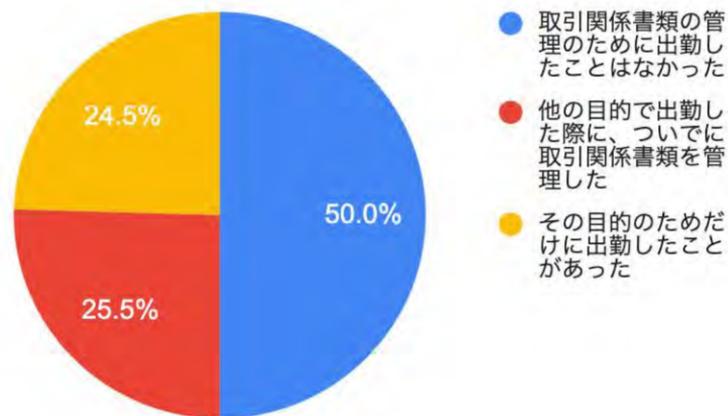
### “ニューノーマル”と取引関係書類の紙保存の関係

リモートワーク	<ul style="list-style-type: none"><li>- 緊急事態宣言に伴い拡大</li><li>- リモートワーク中の“押印出社”が社会課題化</li></ul>
ワーケーション	<ul style="list-style-type: none"><li>- 旅先で余暇を楽しみつつ働く、新しいワークスタイル</li></ul>
デジタル田園都市	<ul style="list-style-type: none"><li>- デジタル技術によって働き方等が柔軟になり、どこにいても国民の生活の質は高く維持される社会の実現</li></ul>

- いずれも**企業の多拠点化促進**につながる概念・トレンド
- 紙をローカルで管理するのではなく、クラウドにより**どこからでもアクセス・管理可能**にすることで多拠点運営が容易に。

### リモートワーク中に請求書・領収書等(取引関係書類)の管理(提出や確認)のために出勤したことがあるか\*

※回答対象: リモートワーク実施者



\* 2020年8月5日～7日、クラウド会計ソフト利用の中小企業の経営者・経理担当者を対象としたアンケート、回答者数1075(単回答)

# 国税・地方税における税務手続の電子化について

(令和2年10月16日専門家会合 財務省・総務省資料抜粋)